

ご多用のところ、前期末懇談会におこし下さりありがとうございました！

栗東市立金勝小学校 学校だより No.7 令和8年9月30日

水 車



学校教育目標：「心豊かに人とつながり しなやかに未来を拓く子どもの育成」

めざす子ども像：違いを認め合い人も自分も大切にできる子 互いのよさを高め合える子 自ら問い学びぬく子 自分で考え動く子

スマホを置いて本を手にとろう！

～今年度の全国学力・学習状況調査と滋賀県学びのステップアップ調査結果から～

校長 中川 章子



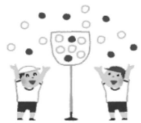
毎年4月に6年生で実施している「全国学力・学習状況調査」の結果が出ました。6年生の児童・保護者の皆さんには、前期末の個別懇談会で個人の結果を返却しております。5年生までの学習の到達度の一端が見られますので、国語科や算数科で「何ができたか」、「何がまだ不確かなのか」を家庭でもぜひこの機会に振り返っていただきたいと思います。今年度の国語科の結果は、これまで6年生の皆さんが努力して授業や家庭学習で「書くこと」に挑み続けた成果が大変よく表れていました。また、「話すこと・聞くこと」の領域においても、どうすれば相手に伝わるのか、どうすれば話し手の意図をくみとることができるのかという技能を磨いた成果が出ていました。6年生の皆さんの頑張りに、頭が下がります。どうか、残りの半年間においても、様々な課題に主体的に取り組み、自らの考えを分かり易く相手に伝えられるよう学習を進めていってほしいと思います。

こうした学力向上にむけて、本校では今年度も滋賀県教育委員会の「読み解く力向上研究指定校」として国語科を窓口の研究を進めると同時に、「県学びのステップアップ(CBT)調査」を4年生以上で実施しています。1人1台端末環境を活用し、コンピュータが出題する問題を解いて一人ひとりの学習の状況を把握し、指導に活かそうとしています。どの学年も昨年度より国語科・算数科において伸びが見られます。一方で、4年生以上の児童質問紙の結果から、子どもたちの読書量が課題であることが浮き彫りになりました。「1か月に、何冊くらいの本を読みますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)」という質問に、「0冊」という回答がの30%を超える学年もありました。余暇は読書よりもゲームやSNSの利用や動画視聴等に時間を使っている実態が明らかになっています。栗東中学校区でも今年の重点の取組を「読書」とし、保幼小中連携して取り組んでいます。ご家庭でも、スマホやタブレットの手軽な画面から少し離れ、本を開くよう促していただけるとありがたいです。読書は文字から場面や感情を自ら想像する「能動的な体験」ができます。豊かな語彙力や読解力はもちろん、他者への共感力やじっくり考える集中力も深く育まれます。スマホやゲームを置き、1日10分、本の世界に浸る時間を設けていただければと思います。

栗東中学校区 子育てNextの取組

◆絵本などの読み聞かせを通して、ともに読書を楽しみましょう

◆様々な分野の本の読書に挑戦しましょう



【再掲】10月21日(水)運動会における駐車場について

校内で何度も何度も話し合いを重ね、今年度の運動会は全校開催(半日開催)といたします。これに伴い駐車場をご用意できず、保護者や地域の皆さまには誠に申し訳ございませんが、本校へのご来場の際、徒歩や自転車、送迎等のご対応をいただきたく存じます。学校事情をお汲み取りいただき、ご協力をよろしくお願いいたします。